

スマホ比率 88.9%に：40代以下は9割以上がスマホ所有

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・スマートフォン比率は2010年から2020年にかけて年々増加し、2020年には約9割に
- ・40代以下では9割以上がスマホを所有しており、60代も8割・70代も約7割がスマホ

1. 調査結果

NTTドコモ モバイル社会研究所では2010年から継続的にケータイとスマートフォン比率の調査を実施してきました。2020年1月にも同調査を実施しました。

なお、本調査ではスマートフォン、ケータイ所有者のうち、1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出しています。

1-1. スマートフォン比率 88.9%に

2020年1月の調査によると、日本国内でスマートフォン、ケータイの所有者のうちスマートフォン比率が88.9%となりました。年々、日本国内におけるスマートフォン比率は増加しており、2010年には4%程度だったスマートフォンの所有比率ですが、2015年に5割を突破し、2019年に8割を超えました。そして2020年にはスマートフォンの比率は約9割になりました。

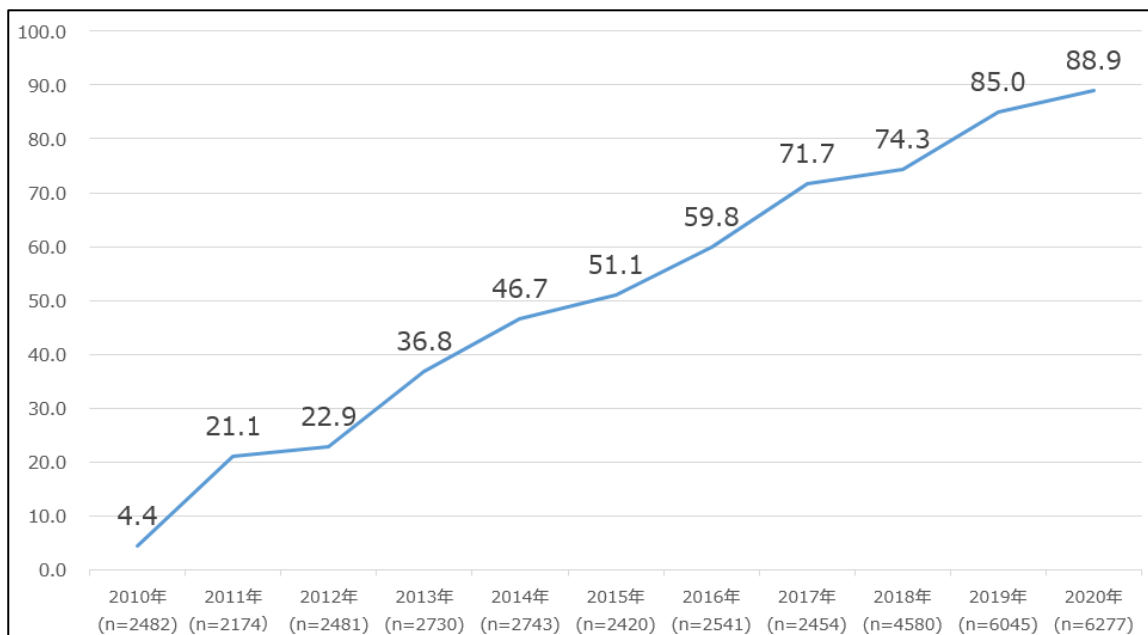


表 1. スマートフォン比率

[調査対象：全国・15～79歳男女]

注 1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注 2：「わからない」を除く。

注 3：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

出所：2010年-2020年一般向けモバイル動向調査

1-2. 40代以下は9割以上、60代で8割、70代でも約7割がスマホ所有

年代別にみると、スマートフォン、ケータイ所有者で10代と20代では99%以上、30代・40代でも9割以上がスマートフォンを利用しており、40代以下でのスマートフォンの利用が定着してきたことが伺えます。

また50代でもスマートフォン、ケータイ所有者のうち約9割、60代でも約8割、70代では約7割がスマートフォンを利用しているという結果が明らかになり、シニア層にもスマートフォン利用が拡大していることが伺えます。

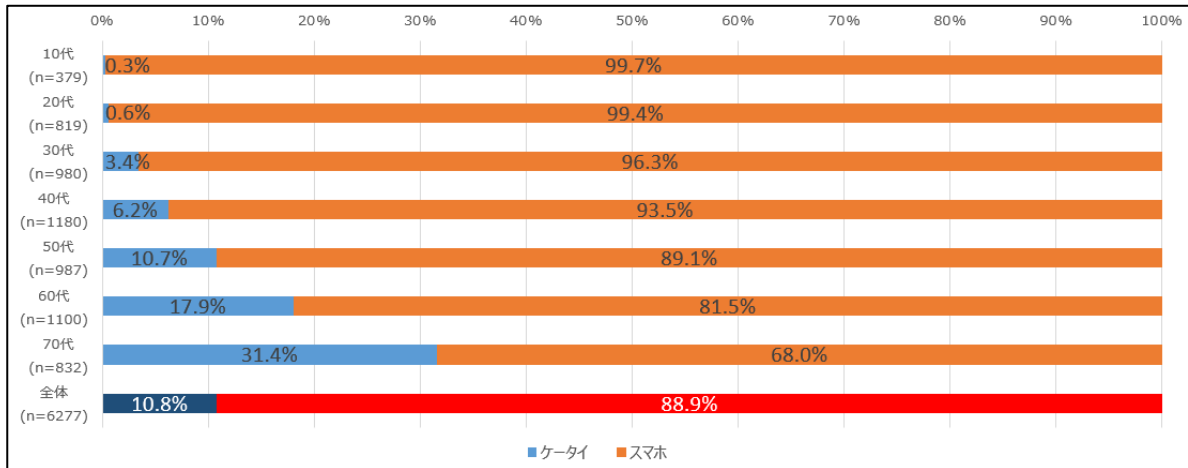


表 2. 年代別スマートフォン比率（1台目、2台目合計）

[調査対象：全国・15～79歳男女]

注 1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注 2：「わからない」を除く。

注 3：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

出所：2010年-2020年一般向けモバイル動向調査

2. 調査概要 —経年概況調査「一般向けモバイル動向調査」—

調査方法	Web
調査対象	全国・15～79歳男女
有効回答数	6925
サンプリング	QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5歳刻み）・都道府県のセグメントで日本の人口分布に比例して割付。
調査時期	2020年1月

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com